

# 雜 報

## ◎人 事

銜從四位 正五位勳四等 柿 沼 吳 作  
(昭和十四年十一月一日)

岡山醫科大學助教授 難 波 駿 逸

陸銜高等官六等  
(三月一日)

從五位勳四等 黒 木 武 一

銜勳三等授瑞寶章  
(三月十三日)

上 村 良 一

任岡山醫科大學助教授

銜高等官七等  
岡山醫科大學助教授 上 村 良 一

本俸十二級俸下賜  
職務俸金五百四拾圓下賜

(三月十一日)

岡山醫科大學助教授 關 正 次

本俸二級俸下賜  
(三月十五日)

銜勳六等授瑞寶章 從五位 竹 内 守 之 輔  
(三月十三日)

從四位勳三等 清 水 多 榮

都市計畫岡山地方委員會委員ヲ命ス  
從三位勳二等 田 村 於 兔

願ニ依リ都市計畫岡山委員會委員ヲ免ス  
(三月十九日)

岡山醫科大學助教授 淺 越 嘉 威

本俸十級俸下賜  
(三月二十三日)

○安岡英之助君 豫て岡山醫科大學産婦人科に勤務し居られし同君は今般高知市農人町に於て開業せられたり

○宮地 稻吉君 豫て高知市楠病院に勤務し居られし同君は今般高知縣中村町中村簡易保險健康相談所に轉勤せられたり

上山喜明君 君は明治38年岡山醫學專門學校を卒業し陸軍に出仕し果進して陸軍軍醫中佐となり大正10年静岡衛戍病院長に補せられ同12年豫備役に編入され静岡市に於て開業し居られしが日支事變起るや應召廣東野戰病院長に任ぜられ「マラリヤ」研究に没頭し居られしが研究半ばにして同病に冒され遂に本月9日戰病死せられたりと寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す君は明治の末年陸軍より獨逸國留學を命ぜられ又學位をも獲得し居られしに嗚呼

藥師寺志忠君逝く 君は大正8年岡山醫學專門學校を卒業し兵庫縣舞子病院に勤務し同10年9月本縣吉備郡總社町に開業し本年2月頃より病褥に臥し富岡(諒)博士等の治療を受け居られしも其效なく本月31日遂に永眠せられたりと寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す

## ◎卒業生

岡山醫科大學にては本月11日同學に於て本年の卒業生に對し卒業證書授與式を舉行したり其氏名は次の如し

相 浦 正 人(佐 賀) 秋 本 若 二(岡 山)  
有 地 康 太(廣 島) 石 井 忠 信(岡 山)  
石 井 正 義(岡 山) 石 川 泰 輔(岡 山)

石田 主基男(岡山)	石田 義明(廣島)	藺田 尙次(京都)	高田 善雄(富山)
稱岡 温(岡山)	岩野 郁造(三重)	高橋 正泰(兵庫)	瀧澤 敏正(岡山)
上田 密(岡山)	上田 徹也(岡山)	立神 誠三(岡山)	田中 逸穂(鳥取)
内田 毅(岡山)	生山 昌平(山梨)	田野口 忠允(岡山)	玉川 保(兵庫)
岡十郎(岡山)	岡村 岩男(兵庫)	田村 章(和歌山)	津田 輝義(岡山)
岡本 正(岡山)	小倉 道郎(岡山)	中神 博(滋賀)	中村 正治郎(徳島)
小野 大三(島根)	景山 杏祐(岡山)	長尾 利行(廣島)	那須 毅(岡山)
片木 正雄(大阪)	門野 義富(香川)	西田 勇(兵庫)	原田 恒(岡山)
菊地 敏行(愛媛)	北村 征男(和歌山)	廣瀬 英雄(徳島)	弘中 満(山口)
木下 博史(廣島)	木村 繁(大阪)	福岡 弘(兵庫)	藤井 千秋(廣島)
木本 静广(大阪)	清川 義雄(鹿児島)	古谷 善平(岡山)	益田 義行(廣島)
桑原 四郎(香川)	河野 貞三(香川)	益谷 達志(岡山)	松田 昌雄(廣島)
兄部 義造(山口)	小坂 淳夫(岡山)	三木 正樹(徳島)	宮本 正明(鳥取)
小手川 精行(大分)	小西 信夫(岡山)	宮本 群郎(岡山)	武藤 和美(岡山)
古谷 淳(岡山)	近藤 良一(徳島)	矢谷 道義(岡山)	矢部 金次(岡山)
後藤 睦年(長野)	志熊 常也(山口)	山崎 邦男(佐賀)	山本 英吉(岡山)
篠原 敏夫(廣島)	柴田 八郎(廣島)	大和 人士(岡山)	吉田 正義(岡山)
神寶 定吾(岡山)	鈴木 敏(山口)	渡邊 武志(岡山)	
妹尾 健一(岡山)	世良 英彌(島根)		